

8月17日
|
8月23日
2022

2022 特定行為研修・第2回集合教育

臨床推論：医療面接/医療安全学：医療安全管理/
チーム医療論(特定行為実践) 編

発行
第2号

Kurume University Education Center for the Certified Nurse

ニュース速報 2

最新情報をお知らせ

第1回目の集合教育からあつという間に第2回目の集合教育がやってきました。特定行為研修 eラーニングの後半を終えた学生たちが、8月17日～23日の日程で再び久留米に集合しました。

第2回目の集合教育では「臨床推論：医療面接」「医療安全学：医療安全管理」「チーム医療論(特定行為実践)」の実習を中心に演習、試験を実施しました。



臨床推論：医療面接 medical interview

看護師役、患者役、観察者役となり様々な症例で医療面接の実習を行いました。看護師役は、限られた時間で患者役から適切に情報を聴取し鑑別診断までを行います。5回練習を行い、医療面接の試験に挑みました！

医療安全学：医療安全管理 medical safety management

インシデント事例を通して、初期対応、患者・家族への説明、インシデント分析、そして今後の対応を検討しました。指導医師から「エラーを誰かが止めるのではなく、自分が止める」その気持ちで関わるのが大切であると教わりました。

チーム医療論(特定行為実践) team medical theory

臨床でチーム医療を実践していますが、他の職種や患者さん、ご家族の立場に立って考え行動できていた？立ち止まって考える機会になったのではないのでしょうか。チームとして同じ方向に向かって進むことの大切さを改めて学びました。

私たちは、4月末の入学以降、毎週1回リモートで集合し演習等を行ってきました。初めてリアルに会えた6月の第1回目の集合教育では、学生たちは、久留米の猛暑に驚き汗だくになりながらも、本当に楽しそうにフィジカルアセスメントの実習をしていたのが印象的でした。第2回目の今回、早くも昔からの知り合いのような雰囲気になっていました。コミュニケーション能力の高さに驚かされます。この能力は、「臨床推論：医療面接」で発揮されたのではないのでしょうか。初回の練習では、戸惑いがみられましたが回を重ねるごとに上達していきました。患者役への質問攻撃から、会話の中から自然に情報を得ることができるようになっていきました試験官をしていただいた医師からは「普段の臨床でも実践されているんですね。その経験が活かされていて上手でした」と評価していただきました。また「常に最悪を想定して、患者をみて情報を得ていく必要があります」と、将来特定行為を実践する学生へ身の引き締まるコメントもいただきました。「医療安全学：医療安全管理」「チーム医療論(特定行為実践)」では、日ごろ経験している内容ばかりでしたが、医師役、薬剤師役など他の職種そして、家族役になりロールプレイを通して改めてその立場に立って看護を実践することの大切さを感じたようでした。これからチームの中心となってどのような舵取りをしていけるのでしょうか。

今回も久留米大学病院から多くの医師の協力を得て集合教育を開催することができました。各方面の専門家である先生方からのご指導は、学生の心に響いたと思います。また、学生の様子をみながらその場に合った資料の提供やアドバイスなど細やかに対応していただきました。心から感謝申し上げます。9月からはよいよ認定看護師教育に入ります。特定行為研修で得た学びを取り入れ、視野を広げて専門分野での学修を深めていってほしいです。頑張ってくださいね！！